



シルバー酒田

〈発行〉

公益社団法人
酒田市シルバー
人材センター
酒田市相生町2-3-80
TEL (0234) 22-3344
FAX (0234) 22-3434



国体記念テニスコート



真剣に事務作業中



光ヶ丘多目的グラウンド



光ヶ丘球場

活力湧くコミュニケーション

東泉町 池田 勝

半世紀前の自分を思い起こさせて買える、刺激ある環境で働いています。1992年第47回へにはな国体が開催された際に建設された、「国体記念テニスコート」「光ヶ丘球場」及び「光ヶ丘多目的グラウンド」の三つの施設がある場所です。

テニス、サッカー、ソフトボール、モルックなどの利用があり、それらの予約管理、利用料の徴収から用具貸出しや施設の割り当て、夜間照明の対応などの管理事務処理を行っています。

最近では新型コロナ、酷暑、豪雨など、過去に経験のない事態に戸惑う事も。しかし、それがきっかけとなり、皆さんとのコミュニケーションで刺激を受けることもあります。子供達や学生の皆さんと触れ合う場面では、無意識に元気に応えてしまいます。若い人達の姿を眺めてレベルアップする様子を見るにつけ「頑張れ」の気持ち湧いて、大会の結果を聞いては一喜一憂。

勝手に大きなパワーを買って「もっけです」「ありがとのー」

豪雨の被害を受けた皆様へ お見舞い申し上げます

酒田市では7月25日からの豪雨により、八幡・大沢地区をはじめ、市内各所で甚大な被害が発生しました。シルバ－会員の皆様の中にも、家屋の床上・床下浸水や土砂の流入により転居を余儀なくされた方、片付け作業に追われた方、家財、車に被害を受けた方がいらっしゃるということです。

心よりお見舞い申し上げます。

酒田市シルバ－人材センターでは市からの要請を受け、8月上旬から災害ごみの集積等作業を受託し、多数の会員が従事しました。作業は10月末現在も続いています。

女性委員会では災害翌週の7月29日に、古タオル230枚を、酒田市社会福祉協議会を通して寄付し、9月には八幡地区の住宅で泥かきのボランティアも行いました。

それぞれの活動に参加した会員の方々に寄稿していただきました。

災害ごみ集積等の作業に従事して

増岡 貴

去る令和6年7月25日、大雨による浸水、土砂災害、山林の崩壊によ

る樹木の倒木、流出などがあり、庄内北部、特に八幡、松山、平田地区に多大な被害が発生しました。それに伴い、翌月8月5日から八幡地区、松山地区、西荒瀬地区における災害ごみの集積、分別、搬出作業が、酒田市環境衛生課より、当センターに依頼されました。

その業務に従事し、早3か月が経ちました。当初は担当課とのFAXでのやり取りから動き出しましたが、災害現場のひっ迫状況から、詳細な打ち合わせをする暇もなく急いで会員の皆さんに声をかけて人員を集め、各現場への人員配置を進めていきました。

この夏の猛暑の中、しかも災害現場の状況もよく分からない中、作業は始まりました。連日、各家庭からありとあらゆる家財が泥まみれ、水浸しの状態で搬入されてきました。それを人力で、テレビなどの家電や木製家具、布団など大まかな種類で分けていきました。会員の皆さんには連日泥まみれ、汗まみれ状態、かつほぼ休みなく作業をしていただきました。

10月末現在もその状況は続いています。災害ごみ集積、分別、搬出の作業はいまだ半ばであり、先が見え



ていないのが現状です。それでも多くの地域の方々、ボランティアの方々、各市町村の職員の方々、シルバ－会員の方々の協力を得て、早期の復興と災害に見舞われた方々のためにも、日々作業しています。

最後に、酒田市、担当課の皆様には、作業内容が伴わない中においてもご協力をいただき心より感謝しております。シルバ－人材センター事務局の方々にも、多大なご協力をいただいております。本稿を借りて御礼申し上げます。



一人一人ができることを

女性委員 佐々木聖子

7月の豪雨災害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

何かお手伝い出来ないかと思っただと、シルバ－の事務局より「ボランティアに参加しないか」とのお誘いを受け、9月14日に常禅寺

地区の住宅で庭木周りの泥かきをお手伝いしてきました。

災害から一か月経って道路、敷地内通路の泥の海は撤去されていますが、住宅内は畳を上げたままで、乾燥機が回ったままでした。

お家の方々にあいさつしたところ、災害時の状況を語って下さいました。が、今まで考えてもいなかった状況で、避難するのがやっとだったとのことでした。再建に向けて力強く語って下さった奥様に、酒田人の心意気を感じました。

その後の能登の豪雨災害にも心が痛みます。ボランティアに参加できなくとも、ここで出来るお手伝いで「被災地で使う古タオル寄付」に皆様からご協力頂ければ幸いです。シルバ－事務所でお預かりし、女性委員会が使い勝手良くまとめ、支援組織等を通して寄付させていただきます。



理事会報告

■令和6年度 第3回理事会 (令和6年8月2日開催)

協議事項

第9号議案 顧問の委嘱について

前副理事長の軽部芳和氏と酒田市健康福祉部長の高橋紀幸氏を当センターの顧問に委嘱することに決定いたしました。

第10号議案 理事の各委員会における所属について

原案どおり可決承認されました。

(任期：令和6年8月～令和8年6月)

総務委員会	2	池田順一理事、進藤正副理事
事業運営委員会	2	佐藤剛子理事、仲鉢充理事
会報委員会	1	渡邊直子理事
安全就業委員会	1	宮窪勝二副理事長
就業適正化委員会	1	佐藤公子理事 ※現在後任検討中
女性委員会	1	村上聡子理事
衛生委員会	1	阿部正宏理事

報告事項

- ・新入会員について
新入会員22名の報告がされました
- ・令和6年4月～7月の事業実績と事業進捗状況について
令和6年4月～7月の事業実績と事業進捗状況が報告されました
- ・令和6年8月からの事務局体制について
- ・日中一時支援事業について
- ・事故報告について
- ・各委員会の報告について
- ・その他

令和6年度事故報告 (令和6年10月17日現在)

労災

発生日時	発生状況	原因と対策
7月10日 71歳女性	保育補助の就業後、帰宅するため派遣先玄関のスロープ状の板に乗ったところ、滑って転倒し、体をかばうため左手をつき左手首を骨折した。	・雨で滑りやすくなっていた。 ・雨天時は滑りやすくなっていることを意識し、グリップ力のある適切な履物の使用、歩幅を小さく、靴の裏全体を地面に付けて慎重に歩く事を心がける。

損害事故

発生日時	発生状況	原因と対策
5月29日 83歳男性	一般家庭の草刈り作業中、雑草に隠れたホームタンク下の銅管に気付かず切断してしまった。	・作業前の現場確認が不十分だった。 ・障害物がある場合は場所ごとに手取り除草で対応する。
6月1日 77歳男性	事業所敷地内の機械刈り除草作業中、飛石により駐車中の社用車のバックドアガラスを破損した。	・会員と対象物との距離が安全を確保するのに不十分だった。 ・周囲の状況を確認し、人、車、建物等がある場合は必ず養生する。
6月30日 77歳男性	眼科医院駐車場の機械刈り除草作業中、雑草に隠れた電線に気付かず切断してしまった。	・作業前の現場確認が不十分だった。 ・障害物がある場合は場所ごとに手取り除草で対応する。
8月21日 75歳男性	公園内の機械刈り除草作業中、汚水確認用の蓋部分を見落としてしまい、手押し草刈り機の回転刃が接触し、破損した。	・作業前の現場確認が不十分だった。 ・障害物がある場合は場所ごとに肩掛け機械のみで除草対応する。
9月25日 79歳男性	一般家庭(空地)の機械刈り除草作業中、飛石により隣家の玄関ドアのガラスを破損した。	・会員と対象物との距離が安全を確保するのに不十分だった。 ・周囲の状況を確認し、人、車、建物等がある場合は必ず養生する。
10月15日 72歳男性	貸店舗の手取り除草作業中、雑草に隠れた電線に気付かず鎌で切断してしまった。	・作業前の現場確認が不十分だった。 ・障害物がある場合は場所ごとに鎌を使わず、手のみで対応する。

傷害事故

発生日時	発生状況	原因と対策
8月22日 74歳男性	一般家庭の剪定作業中、蜂に腕を数ヶ所刺された。	・作業前に蜂が飛んでいないか、現場の状況を確認する。 ・蜂がいたら近寄らない、巣の近くでは作業しない。 ・蜂スプレー、ボイズリムーバーを常備する。 ・体調に異変を感じたらすぐに救急車を要請する。

芸術の秋

わが「○○」人生

今年度は諸般の事情により、シルバ－フェアの会員創作展を行わないこととなりましたが、芸術の秋ということで、会員のみなさまが力を入れている創作活動について、ご紹介いたします。今回は2名の方に「わが○○人生」と題し、語っていただきました。

わが「油絵」人生



中西美徳さん
= 上安町 =

小さなころから絵が好きだった。油絵に初めて出会ったのは、小学6年生の夏。一番上の姉に連れられて岡山県倉敷市の大原美術館に行き、ゴッホやルオー、モネ、セザンヌ、マチスなど、世界の名画を見て心が震えた。高校卒業後に上京し、短大へ進学。学生時代も社会人になっても、暇さえあれば上野の美術館や銀



故郷の海を描いた「初日の光」

座の吉井画廊などに足を運んだ。描く側への第一歩を踏み出したのは、社会人1年目。三越デパートに行き、初めてのポーチナスの一部で油絵の道具を購入した。その喜びは今も鮮明に覚えている。

画廊に通う中で、両境で活躍する画家たちに出会う機会もあった。特に心に残っているのは、1975年に文化勲章を受章した、画家の中川一政画伯との出会いだ。これまで我流で描き、さまざまな苦悩があった私は中川画伯に「どうしたらこんな風に描けますか」と伺った。中川画伯の回答は「思ったままに描くと良い」といった内容だった。自分の好きなことや感じたことをそのまま描けばいい、そのような言葉に背中を押された。

以後、県内外で個展を開き、全国公募のたぶろう美術協会展、県美展、白鷺社展などの美術団体展に参加してきた。

新作の「初日の光」は、18歳まで過ごした広島県の瀬戸内海を舞台にしている。日の出とともに船出する漁船と、岬の先端に立つ阿伏鬼観音を描いた。日本海と異なる瀬戸内の穏やかな波を丁寧に描写した。新しい年への決意を込めて、昨年からの今

年にかけて制作した。

普段は花をモチーフにした作品を中心に描いている。自分で育てている草花を描くことも多い。花には人の心を潤し、元気を与えてくれる力がある。これからも作品を通して「生きる喜び」を描いていきたい。



花をモチーフにした作品が多い



F6号「ひまわり(太陽の花)」



文化センターで教え子たちと展示会

今野志美子さん
＝若浜町＝

わが「からむし」人生

「からむし(青芋)」は、伸びると2メートルほどにもなる、イラクサ科の多年草。聞いたことがないと言う人もいるが、庄内でも土手や田の中などどこにでも生える、意外に身近な植物でもある。実は、粉末にしてパンやうどんに混ぜ、食べることもできる。

十数年前、からむしに出会う前、



染料は栗のイガなど自然のものを使う

友人に連れられて鶴岡市関川にある「しな織り」の制作体験に行った。植物から布を織ることに面白さを感じたが、酒田でやってみたくも思っても、シナノキがなければできない。身近な植物で、何かできるものはないか。図書館で古布の本を読むなどして調べ、たどり着いたのが、からむしだった。

その後、からむし文化発祥の地である福島県昭和村で技術を学び、酒田に戻ってから制作を始めた。しかし、見よう見まねでは、第一段階の茎をむいて繊維を取ることすらままならなかった。周りの人から「そんな草で何するの」と笑われたことも



全身「からむし」ファッション

あったが、「自分の好きなものを編みたい」の一心で、さまざまな道具を自作。茎をむくのは、パンづくりを使うスケッパーを活用するなど工夫し、1年ほどでようやく思うように繊維を取れるようになった。これまでバッグやベスト、帽子など数々の作品を作ってきた。染料には栗のイガや桑の実などを使い、自然のものだけで作っている。今では「からむし工房あざみ」を主宰し、自宅などで教えている。教えると言っても、繊維の取り方や糸を作る過程まで。生徒には、自分の好きなものを好きなように作ってみて、と話している。最近では生徒たちの発想の豊かさに、逆に教えられているくらいだ。

近年はからむしで念願の着物を織った。今後の目標は、孫のウエディングドレスのベールをつくること。楽しみながら制作したい。

【会員さんからの情報募集】

「この趣味をぜひ紹介したい・見てもらいたい」「この活動を知ってもらいたい」

…そんなわが「〇〇」人生はありませんか。

取材に伺いますので、シルバー事務局会報委員会までご連絡ください。

☎22-3344 (掲載には条件がございます)

<お詫び>

シルバーフェアの開催時期や会員創作展の中止について、会員の皆様へ十分にお伝えしきれませんでした。深くお詫び申し上げますとともに、来年度は実施できるよう努めてまいります。

日常茶番事

夢のクルーズ世界一周

7月23日午前4時20分、突然目が覚めた。それは宝くじが1億円当たった夢だった。夢の中でさてこれは何に使おうかと思案していたが、私はこれまで海外に行ったのはハワイだけだった。この際、ぜひとも世界一周旅行をするぞ。隣にいた家内に相談。気心知れた友達も連れて行きましようよ。友達で何人だ？二人よ。よーし行くぞ世界一周旅行へ～むにゃむにゃ…世界中の旨いもの食うぞ～早速旅行会社へ行って「ダイヤモンド・プリンセス」の申込みだ。

…お父さん！お父さん！いつまで寝ているのよ、もうとっくに8時過ぎているわよ。しょうがないわね…寝ぼけているんだから。

— 夢治 —

残りの人生、楽しみたい

まずはJRに9千万円を寄付します。新幹線延伸に役立ててもらいたい。新庄から陸羽西線で酒田へ、そして羽越線を通って鶴岡終点。生きているうちに乗り換えせずに東京までいきたいね。

残った1千万円で嫁さんと一緒に…東北一周は終わったので、次は北海道一周、九州一周、四国一周とか。マイカーで道の駅めぐりをしても楽しいかもしれない。最近では道の駅にも温泉があるし、その土地のおいしい食べ物を聞いて食べ歩きをすとか。残り少ない人生、楽しみたい。

— S・A —

日頃、胸中に秘めていたバカ話、無駄話をするコーナー。第8回目は「もし、宝くじで1億円が当たったら」と題してお届けします。多くの応募の中から厳選した4作をご披露いたします。どうぞ、お楽しみください。

全額寄付いたします

何の徳もない私ですが、この年になるまで世間様に生かされてきました。

私がつけていてもしよせん身につかない、あぶく銭の1億円…。世間様のお役に立たせていただければと思い、全額寄付いたします。

— M、 —

世界一周、その前に…

1億円当たりました～!! ああ、寿命が縮まったかも？

さあて、何に使いましよう？残りの人生、少し短すぎる(；)

まずは車を電動自動車に！そして旅行三昧！国内旅行も悪くないけど、やはりクルーズ船で世界一周でしょう。

いやいや、その前にすることがあります。健康サプリメントの買いまくり。

「イタドリ」、「いわしのおせんべい」、「グルコサミン」、「すっぽん黒酢にんにく」、「ロートV5」、「えんきん」の方が良いかなあ。

それから～、そうだ！クルーズ船では食べ過ぎるからダイエットサプリメントも大量に買い込みましよう。

— CMに毒されているババア —

【投稿募集】

次回のテーマは「わたしの宝物」。あなたの宝物とその理由はなんですか？封筒の表に「会報原稿」と書いて、事務所または支所の作業日報ポストに投稿してください。締切は来年2月14日です。会員の皆様からの投稿、お待ちしております！

事務局通信

●人事異動

○退職 (令和6年8月30日付)
業務統括専門員 本間 博
(令和6年9月30日付)
非常勤職員 増岡 貴

●採用 (令和6年9月24日付)
ありがとうございます。
よろしくお願ひ申し上げます。

臨時職員(施設管理等担当) 大場 和博

2025年版(令和7年)
**シルバー
会員手帳**
発売中
400円
事務所まで
お申し込みください。

**会報委員会のメンバーが
変わりました。**

8月2日付で新しい委員が委嘱されました。今後ともよろしくお願ひいたします。

○渡邊 直子 上本町
三丁目恵子 北千日町
小林 隆治 松原南
佐藤 舜爾 中野曾根
佐藤 萌 事務局

○印 委員長

随感

清く正しく 美しく

高砂

崎山 欽司



「アホによし食の都は咲くボスの狂うがごとく今盛りなり」。

南部(奈良市)出身、

シルバーに入ってから4年半、お寺の除草の班長になって2年。ここで、除草班メンバー「草の狩人たち」を紹介いたします。

メンバーその①列車「はやぶさ」も尻尾巻いて裸足で逃げ出す除草の



何事も経験

熊手島

阿部 尚子

私は若いころから、太陽の下で汗をかくことなどありえない「インドア派」で、友人たちにも「登山なんて、下るくらいなら登らなきゃいいのにと、経験がないにも関わらず言うくらいでした。

年齢50も半ばを過ぎたころ、当時勤めていた岩手で、同僚たちから「岩手にいるなら、山に登らないなんてもったいない」と強めの誘いを受け、指導を仰ぐことに。

速さ。あたしや入れぬで歯が立たないよ。②神主さん。除草の後は床の間。掛け軸を吊るし、一輪の花を手向けたい。③金欠を司る貧乏神。崎山家の中では、三歩で忘れるニワトリ君と呼ばれている。④刈り払いの魔術師。とにかく丁寧。集草だけで済むので感謝しかありません。お寺様には、いつも過分なご配慮をいただき感謝しております。一同、清く正しく美しく、お寺様の名前を汚さぬよう作業に従事して参ります。今年も、シルバー関係で身近な方が5人亡くなりました。本稿を借りて、ご冥福をお祈りいたします。

その山は千メートルに満たないものの、未経験の私にとっては苦行でしかなく、ボヤキながら登り始めました。しかし山頂に着くと、風や眼下の街並み、連なる山々に感動。諦めずに連れてきてくれた同僚に感謝しました。

それ以来、登山道具を備え、一人で低山登山をするようになり、そのうちに仲間もでき、東北の山々からあつという間に北アルプスへ行くまでになりました。

何事も経験あるのみです。頭と体が動くうちは、「老害」にならないように、いろんなことをやってみようと思っております。

安全就業だより

猛暑も過ぎ去り、晩秋の冷たい風が感じられるようになりました。日が暮れるのも早くなり、夕暮れ時の運転にはより一層注意が必要となります。県内での交通死亡事故もたびたび発生しているようです。

そこで今回は交通事故防止のポイントを紹介したいと思います。

- 1・いつもより早めの点灯
- 2・常に「かもしれない運転」を心掛ける
- 3・住宅街など人通りの多い場所での飛び出しに注意する



日没時間が急遽に早くなる



周囲が暗くなるまでの時間が短くなる



歩行者や自転車が見えにくくなる



1 早めのライトオン



2 「たぶん」運転から「かもしれない」運転へ



3 踏切りや物陰にこそ注意

事故0を目指し、他センターの模範となれるよう頑張ります。

令和6年度 安全就業に関する標語入選作品

【会員の部】

- 最優秀 「事故ゼロ」は 何より輝く 金メダル (三川町SC 五十嵐節子)
- 優秀 見落とすな ひやりハットは 赤信号 (河北町SC 後藤 春男)
- 優秀 シルバーの 信望高める 安全就業 (庄内町SC 齋藤 貴士)

【職員の部】

- 優秀 「あとちょっと」 欲張る気持ちが事故のもと (酒田市SC 佐藤 萌)
- 優秀 安全に 出来栄え添えて 誇れる仕事 (大石田町SC 相馬 由美)

訃報

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます

佐藤公子さん(七十三歳) 六年十月



8月26日 八幡災害ごみ集積現場

写真で見る 2024



9月14日 八幡ボランティア



8月26日 泥だらけの机が山積



8月23日 寒河江市シルバー視察



9月14日 土のう袋へ泥詰め運搬



10月9日 県連合会安全就業推進大会



10月18日 あづまこども園芋ほり



10月30日 あづまこども園交流会

ちよこつと観光ガイド

北前船の遺産

出雲型狛犬

神社の境内でよく見られる狛犬は「お座り型」が一般的だが、酒田の日和山公園周辺には「構え型」・「出雲型」と呼ばれる狛犬が鎮座している。この狛犬は江戸時代や明治時代に島根県の来待地方で増産され、北前船で運ばれてきたと言われている。古い狛犬はもう朽ちてきて形が分からないものもある。それでもその当時、船頭達が航海の安全を祈願して、神社に奉納したことがしのばれる。

編集後記

今年も昨年同様、異常気象により、暑い日の続く大変な夏だった。楽しみにしていたパリオリンピックが始まると、テレビに釘付けとなった。日本のメダル獲得数は、45個（金20・銀12・銅13）。総獲得数と金メダル数は、海外開催大会では最多とのこと。見ごたえのある試合が多かった。

一方、酒田では7月25日の豪雨災害により、八幡地域の観音寺地区や大沢地区を中心に甚大な被害を受け

日本海側で見られる構え型狛犬は、酒田周辺に多いのではと、ただいま調査中。狛犬のルーツをたどると韓国、そして古くはシルクロードでエジプトのスフィンクスにたどり着くと言われている。（狛犬オタクの渡邊）



た。被災した方々を支えるため、災害ボランティア活動が活発に行われている。私が施設管理業務を担っている親子スポーツ会館の合宿所には、東京都、神奈川県、静岡県など、県外からのボランティアが宿泊している。長い人では10日間も続けて、泥だらけになって帰ってくる。感謝の気持ちでいっぱいである。

今年度は残念ながらシルバーフェアの会員創作展は実施されなかった。来年度は実施できることを願っている。

（小林 隆治）